

母子こども神楽

本校では、地域の母子神楽を子どもたちに伝えてほしいという願いから、1991年度より、伝統芸能の学習として位置付け、取り組んできました。

月に一度の神楽教室

毎月1回、地域の神楽指導者の方に来校していただき、神楽教室を行っています。子どもたちは、先生方や上級生をお手本にしながら「篠笛」や「舞」を覚えていきます。

6年生は獅子をかぶって踊る「舞」、3、4、5年生は「篠笛」による伴奏、1、2年生は「太鼓・鈴」による伴奏と舞を補助する「お持ち」、というように、学年ごとに役割を決めて取り組んでいます。



秋祭り（10月20日）

今年も大歳神社で秋祭りが行われました。地域の方への初お披露目となるこの日、今年も中高生が篠笛を持って応援に来てくれて、小学生の緊張をほぐしてくれました。



三田市連合音楽会（11月8日）

郷の音ホールで行われた連合音楽会に参加し、市内の小学4年生の子どもたちに、三番叟を披露しました。

母子芸術の集い（11月23日）

6年生にとって最後の神楽発表の場となる母子芸術の集いでは、のびのびとしたしなやかな舞に、会場は大きな拍手に包まれました。

